

スタンフォード日本センター 研究所長

## 中村伊知哉氏



があるからです。

今後の成長のためには、既存のビジネスモデルを脱することも必要です。携帯電話、ブログなど他者とのコミュニケーションを媒介としたビジネスは拡大を続けています。キャラクターと新しい情報インフラを融合させた市場を生み出す努力が求められます。

## 国際競争が激化 人材育成も重要

政府にもできることがあります。他国に著作権保護を求めたり、大学院などでの専門的な人材育成、小学校でパソコンを使って絵を描くなどの創造性を高める教育を推進するといった支援を行うべきでしょう。

日本のコンテンツ産業は強力なキャラクターを作り出す企画力には秀でていますが、世界規模のビジネスへの取り組みが求められる。政府にもできることがあります。他国に著作権保護を求めたり、大学院などでの専門的な人材育成、小学校でパソコンを使って絵を描くなどの創造性を高める教育を推進するといった支援を行うべきでしょう。

日本のキャラクターが海外でさらに受け入れられることは、利益を生み出すだけでなく日本ブランド全体の強化につながります。「日本がカッコいい」との認識が定着すれば、家電製品や自動車などの販促、観光の振興にもなるなど、波及効果は大きいといえます。

はこれからが本番です。安価な制作費をテコに中韓が追い上げるなど競争が激しくなる中、バンダイとナムコの統合など企業規模を拡大する戦略は理にかなっています。より競争力のあるコンテンツを作り続けるには、豊富な資金を確保する必要